

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

网友

11 2024
月号

vol.700

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

北九州地区採用・共育研究会
インタビューシップ

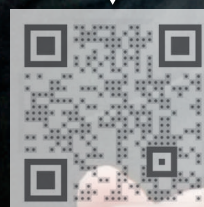
21世紀型
自立型
企業づくり

経営者の心と頭を軽くする
～ワンストップでお悩み解決～

はやし なおき
林 直輝 氏 (輝翔法律事務所)

福岡県中小企業家同友会

 広報情報部
Facebook



[デザインQR]

北九州地区採用・共育研究会 インタビューシップ Interview Ship

地域と企業と学校が連携し、ともに学び育ち合うための ～インタビューシップへの挑戦～

北九州地区採用・共育研究会会長 松木 祥也(北九州支部) 相談役 市丸 皓士(ひびき支部)
聞き手: 広報部 平野 裕一(中央支部) 写真: 広報部会長 南 史聡(西支部)

インタビューシップは、かかわる すべての人に“気づき”のある取り組みです

2023年度の北九州地区インタビューシップでも、受入企業の多くで「やってよかった」との声があがっています。

企業にとって

やってよかった
92%

一番の収穫だったのは、社員の今の気持ちや将来の話が聞けたことです。

- ① 想い(理念)を社員や学生に伝える場に
- ② 社員とのコミュニケーションの場に
- ③ 自社を地域に知ってもらう場に



社員にとって

やってよかった
93%

仕事をする意味や目的を言葉にしてみることで、改めて考える機会になりました。

- ① 働く目的を考えるきっかけに
- ② 生徒に伝える機会を通して、会社への理解が深まる
- ③ 伝える力を身につける



学校にとって

学校現場では教えることができない貴重な社会の学び場です。

- ① 地域の中小企業を知ることができる
- ② 生徒が主体的に学ぶ場を提供できる
- ③ 学校や家族以外の学び場を提供できる



生徒にとって

やってよかった
88%

自ら行動し、コミュニケーションをとろうとする姿勢が身につきました。

- ① 働くことへの意識が変わる
- ② 学習意欲が向上する
- ③ 地域の中小企業への認識をもつ



インタビューシップ (共育型インターンシップ)とは?

高校1年生が一人で企業訪問し、経営者や社員さんの働く様子や話を取材して、その内容を発表する活動です。生徒にとっては経営者や社員の思いを理解し、職業観を考えるきっかけに、企業にとっては自分たちの仕事内容や思いについて、伝えることを通して、改めて考える機会となります。取り組みを通して生徒も企業も共に成長できる「共育型」のインターンシップです。

の育成が必要不可欠となります。

は、地域社会や地元企業が継続、発展していくためには、将来の核となる人材の育成が必要不可欠となります。単なる人材の補充ではなく、地域社会や地元企業が継続、発展を若者と共に目指していくことを目的として誕生しました。単なる人材の補充ではなく、地域社会や地元企業が継続、発展を若者と共に目指していくことを目的として誕生しました。単なる人材の補充ではなく、地域社会や地元企業が継続、発展を若者と共に目指していくことを目的として誕生しました。

北九州地区採用・共育研究会は、

2016年に「地域に若者を残し、地域で

若者を育てる」を理念として地元中小企

業や地域社会、我々の住むこのまちの発

展を若者と共に目指していくことを目的

として誕生しました。単なる人材の補充で

はなく、地域社会や地元企業が継続、発

展していくためには、将来の核となる人材

の育成が必要不可欠となります。

は、地域社会や地元企業が継続、発展を若者と

共に目指していくことを目的として誕生し

ました。単なる人材の補充ではなく、地域

社会や地元企業が継続、発展を若者と共

に目指していくことを目的として誕生し

ました。単なる人材の補充ではなく、地域

社会や地元企業が継続、発展を若者と共

に目指していくことを目的として誕生し

ました。単なる人材の補充ではなく、地域

社会や地元企業が継続、発展を若者と共

に目指していくことを目的として誕生し

ました。単なる人材の補充ではなく、地域

社会や地元企業が継続、発展を若者と共

に目指していくことを目的として誕生し

ました。単なる人材の補充ではなく、地域

社会や地元企業が継続、発展を若者と共

に目指していくことを目的として誕生し

ました。単なる人材の補充ではなく、地域

社会や地元企業が継続、発展を若者と共

に目指していくことを目的として誕生し

ました。単なる人材の補充ではなく、地域

社会や地元企業が継続、発展を若者と共

に目指していくことを目的として誕生し

ました。単なる人材の補充ではなく、地域

社会や地元企業が継続、発展を若者と共

に目指していくことを目的として誕生し

ました。単なる人材の補充ではなく、地域

社会や地元企業が継続、発展を若者と共

に目指していくことを目的として誕生し

ました。単なる人材の補充ではなく、地域

社会や地元企業が継続、発展を若者と共

に目指していくことを目的として誕生し

ました。単なる人材の補充ではなく、地域

社会や地元企業が継続、発展を若者と共

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙



林直輝氏(福博支部)
所長 輝翔法律事務所

詳しくは本誌7ページへ

私が林さんを
紹介します!



三和浄水株式会社
取締役
原田 智香(福博支部)

私が同友会福博支部で林直輝さんとグッと距離を近づけたきっかけは林さんが2018年に支部長に就任し、2年後の集大成として掲げた「中小輝業者200人が本気でぶつかり合う経営者の祭典☆福博ゴリンピック☆」の実行委員長にご指名頂けたことでした。当時、林さんは福岡県同友会の中でも若き経営者の代表として青年部連絡会(いまの青年経営者部会)の2代目代表として全国を飛び回り大活躍をされておりました。彼の印象は誠実で完璧主義。一度掲げた目標は必ず達成す

る、そんな勢いと頼もしさがありました。林支部長の旗振りの元、一生懸命に取り組んだ矢先、悪夢はやってきました。ご周知の通り2020年3月。当時は新型コロナウイルス感染が拡大し始めており、苦渋の決断で大例会は「中止」となりました。しかし、林さんと共に本企画を通し、会員それぞれ互いにぶつかり合い、寄り添い合い得た貴重な体験でした。①多様性を受入れること②当たり前のことを継続していくことの大切さ。それが「組織の活性化を生むこと」などしっかりと学ぶことができました。あの悔しい思い、悲しい思いは消えることはありませんが、林支部長と一緒に福博支部一同が互いに相手を思いやり、行動したそんな貴重な経験をさせて頂いたことに感謝します。今後ますますの発展を期待します。

撮影後記



輝翔法律事務所の所長・林直輝さんをお訪ねいたしました。

事務所は裁判所のある、六本松地区にあります。セキュリティのしっかりとしたオフィスでZoom会議の機材も整っている素敵なオフィスで取材を行いました。

『経営者の心と頭を軽くする』との理念に基づいて事務所の経営にあたる、ラグビーをこよなく愛する林所長です。スポーツマンらしい笑顔が印象的!

素敵な写真が撮れました。ありがとうございました、感謝いたします。

撮影・文/株式会社ココスイメージ 富谷 正弘(玄海支部)

“デザインQR”とは?

月刊同友675号より、表紙・自立型企業づくり・アンケートは、絵柄付きのQRコードを採用しています。スマートフォン等で読み取る場合は、従来の白黒QRコードと同じアプリを使って読み込むことができます。※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

インタビューシップ導入の経緯とその成長

根底にあったのは、北九州は若者の流出が日本でワーストワンなのです。なにか対策をやりましょうという話からスタートしました。今回のインタビューシップは、事務局から香川同友会で面白いことをやっているとの話があり、視察に行くことから始まりました。

山形大学の松坂教授がこれを編み出し、大学生に向けてスタートしました。インタビューシップというのは香川がつけた名前です。本当の名前は共育型インタビューシップです。松坂先生と山形同友会と一緒にスタートして研究をしており、香川の同友会が勉強会に行き、これは素晴らしいと香川に持って帰って、高校生と実施することになりました。香川も若者の流出が顕著で、高校生への取り組みは、日本で初めてだったそうです。担当の先生が、同友会理念にすごく感銘を覚え、やり取りがあり、周りの先生の反対もありましたが合意を進めることとなりました。

インタビューシップは、元々はキャリア教育で学生さんに「働くとはなんぞや？」ということを教えるためにインター



松木祥也さん

ンシップが始まりました。現在は、ほぼ就職活動となっているようにも思われます。今、インタビューシップではキャリア教育が難しい側面もあります。インタビューシップは職業体験が主流となり、企業が学生に与える内容が多いです。しかしながら、このインタビューシップは、学生が来て僕ら社長は「どういう思いで経営をやっていますか？」「創業時の思いはどうですか？」「この理念はどこからきた理念ですか？」等のインタビューを受けます。つまり学生にとって

も企業にとっても良い体験となり、共に成長をするのです。先生方も生徒の成長には、驚かれています。

最初は、言いたいことも言えず緊張していた生徒が、慣れてくると自分から質問させてくださりとなってきます。インタビューが終わって、今度はインタビューシップの成果発表会で、訪問した会社のすばらしさをパネルにして発表します。

今年は高校生200名の受け入れになります。企業側もインタビューシップの準備を行います。企業側は若手も幹部も社長もですが、インタビューをなかなかされたことがないため、事前に打合せをしています。学生に伝えることで、アウトプットとなり自分の中の考えがよりまとまってきます。

新入社員は、特にそうでした。何のために働くか？考えたこともなかったようです。本人はお金のため・生活のために働くことと考えていましたが、学生が来週から来るにあたり、準備シートを見て考え始めました。本当に何のために働くんだろう。自分にとって仕事ってどういう位置づけなんだろうと考えるようになりました。また、この若手社員が働くという考え始めると幹部社員にも良い影響がありました。社員の成長

高校生の成長と企業導入のメリット

昨年のインタビューシップに来た高校生17人は成長しました。その子たちが、今年の1年生200人のお世話をし、学校の体育館で初めて説明会を行いました。去年参加した2年生がインタビューシップの目的をパワーポイントを使い、1年生に説明しました。説明が終わって教室に戻り、「働くとは？」というテーマで授業がありました。



市丸皓士さんと松木祥也さん

高校生は、インタビューを1人で行っています。会社へのアポイントも全部自分で取るんです。インタビューする会社に訪問し、事前に打ち合わせをし、本番を迎えます。人生で経験したことのないことを高校1年生の早い段階で経験できます。

本当にその若者たちが将来、働くことについて考えてくれるならば、北九州から一旦は出て行くかもしれません。北九州にこんないい企業があるよ、ということがわかってくれたら帰ってくるきっかけを与えられると思います。学生もやりたいことが明確になり自主的に勉強するように変わっていきます。企業もインタビューシップにより社員の自主性が養われます。自主的になれば学生も企業も地域も良くなるという考え方は、

規模の小さな会社ほどインタビューシップ受け入れに意味があります。採用と定着の受け入れ体制が整うからです。すぐに就職には結びつかないかもしれませんが、就職先に選んでもらえる会社にはなりません。インタビューシップを実施してまだ2年目ですが、インタビューシップで縮められなかった学校や、若者との距離感がぐっと縮まった感じがしています。

働きたくない高校生が変わった

衝撃を受けたのは、生徒たちが口を揃えて、「私達は働きたくないんです」と言っていたことです。「学生でいたい。学生は楽しいから働きたくない」「両親も一生懸命働き、大変な思いをして私達を学校に行かせてくれたら、嫌でも働いていくことになる」。働くことは、嫌なことではないこと、大変なことと思っているようでした。



インタビューシップの様子

に繋がりが、会社成長にも繋がっていきます。

インタビューシップの準備シートに基づいて社長も書きましますし、社員も書きまします。幹部が、そのシートでお互い自分がどう感じているか？どう思っているか？と発表し合い自主性も育まれています。また創業の想いを新入社員に話すきっかけにもなっています。このようになりとりが、社内のコミュニケーションの向上や会社のベクトルを合わすという非常に役に立っています。



市丸皓士さん

インタビューシップを通じて、仕事ってそうじゃないんだという気づきが生まれました。初めて親に「なんで働いているの？」と聞き、お母さんは、看護師をして、始めはお金のために働いていたけど、命が助かった方の経験を通じて、喜びが変わっていった。お母さんの話を聞き、大変なことばかりじゃないんだなってわかったから、私も看護師を目指す目を輝かせて語るように変わったそうです。仕事と人生の良い選択の機会となったと感じました。

学生に選ばれる企業へ

新卒なんてうちでは、と思われている企業も、インタビューシップはやるべきです。山形大学の先生の研究結果でも、効果が実証されています。学生が来てインタビューをされることは、会社にとってすごい刺激になります。会社を次のステップに持っていきたいと思って、一生懸命やっても成長できないという会社は、インタビューシップという外からの刺激を受けるのも良いと思います。小規模でやっているところは社



経営者の心と頭を 軽くする

ワンストップでお悩み解決

「当事務所は、弁護士・公認会計士・税理士・社会保険労務士・行政書士・財務コンサルタントが揃っており、お客様の相談をワンストップで対応しているのが特徴です」と話します。

一般に法律相談というのは庶民にとって、敷居（相談料）が高いというイメージがぬぐえませんが、「相談に乗ったからといって私たちの知識が減るわけでもありません。しかし無料だと気を使って話ができない。そこで月3,000円というお手頃料金の「ライト顧問」という顧問契約をつくりま



オフィス入り口

※ <https://kisho-law.jp/service01.html>

輝^{きよとく}翔^{はやし}法律事務所 所長
林^{はやし}直^{なお}輝^き氏 [福博支部]

同友会での経験を活かして「経営理念」をつくりました。いま経営理念が社内ですぐに果たす役割を再認識するのです。

取材／広報部
文章／菅原 弘（東支部）
写真／富谷正弘（玄海支部）



「ライト顧問」で問口を広げる

今回の自立型企業の取材先は、福岡裁判所の近くに事務所を構える輝翔法律事務所です。所長で弁護士・通知税理士の林直輝さんが笑顔で出迎えてくれました。

「うちの近所に事務所を構える輝翔法律事務所です。所長で弁護士・通知税理士の林直輝さんが笑顔で出迎えてくれました。」



10月4日(金)成果発表会 魚町イベント広場にて



10月4日(金)成果発表会 小倉駅JAM広場にて

地域と企業と学校が連携し、
ともに学び合う環境を

学生が地域を離れる理由は、結局地域に魅力がないからだと思われがちです。地域で働く魅力もなく、地域に住む魅力もないので東京や大阪へ行ったりしています。地域に魅力があったらそこに多分いるんじゃないかなと思います。

長教育にも繋がります。社長に一番気づきを与えられ、何かスイッチを入れてくれるのは学生かもしれません。社長が、アウトプットをし社員も同じ感覚でアウトプットをして、事前準備を進めていきます。「5年後10年後の将来のビジョンは？」「今後、どんな会社を目指してらっしゃいますか？社長のビジョンをお聞かせください」ということも聞かれます。高校生に聞かれるから考えますね。インタビューシップは、社長教育の側面もあります。インタビューの内容を持って帰って、先生やクラスの人にも言われますので、企業も一生懸命考えます。インタビューシップよりもインタビューシップの方が、企業の受け入れやすさもあると思われがちです。

しかしながら、多分地域に魅力がないのではなく、その魅力を伝えていないし、伝える場がないのです。インタビューシップが、地域の企業や魅力を知る機会になると思います。中小企業に対する考え方が変わったというアンケート回答が多かったと言われています。例えば、中小企業ではなくて、やはり大手の会社に就職しないと、私の一生は駄目になるという先入観もあるようです。親御さんの中小企業へのイメージも悪いです。インタビューシップを通じて変えていける可能性はあると考えています。

地域との連携もなかなか難しいですが、まずは学校と連携しながら地域を変えていく。これから10年のサイクルで変えていくことは、できる気がしています。

香川の先生が言っていたのが、今の高校生は日頃からスマホで情報を取っています。スマホで出てくる情報は、東京や県外が多いため、高校生にとって身近な地域は東京となり、地元香川のことを知る機会がないまま、県外に出て行ってしまいます。

そこでインタビューシップを通じて、まず自分の住んでいる地域の会社を知りたい機会にもなりました。



インタビューシップの様子

学生が、「このインタビューシップに来て、中小企業の見方が変わった。買い物や部活などの試合に行くときも、会社の看板を見ていい会社だったな」と母親に言うようになったと聞いています。地元に興味を持つようになり変わりました。働き先の選択肢の一つに中小企業も加わることに繋がります。

今後もインタビューシップを通じて、地域と企業と学校が連携し、ともに学び合う環境作りに邁進しています。

弁護士に合格

林さんは1980年に福岡市で生まれます。「父はとても怖い人でした」。そんな父親が「弁護士はいいぞ」とよく口にしていました。中学生になる頃から、そんな父親がうらやむ弁護士を目指すようになり、周囲にも公言していました。一方で福岡高校ではラグビー、九州大学ではアメリカンフットボールに励むスポーツマンでもあります。ロースクールに進んで28歳で弁護士の試験に合格しました。

波乱の独立

3年後の独立を目指し、とある法律事務所『修行』をするのでした。あらゆる業務を修得したいと思う林さんは、昼夜を惜しまず仕事に明け暮れました。体調を崩しながらも必死に仕事をこなす一方で、雇い主の先生は眼の前で漫画を読んで笑っています。さすがにスポーツマンの林さんも疲弊し、情緒不安定にもなってきました。『ドクターストップ』（診断書の提出）にも意を介さない先生に、「本人曰く」「ゴリゴリのケンカをして」「事務所を飛び出しました」。

「さあ、明日からの仕事が無くなった」。林さんは急遽、不動産を訪ねるに借りられる事務所を探しました。弁護士は弁護士会に所属することと事務所を持つ

ことが必須となっています。福岡市大手門のマンションの一角を借り、ホームセンターで購入したじゅうたんを敷きこたつを置いて、パソコンとFAXを設置します。2週間足らずの2012年4月1日に創業したのでした。

同友会に入会

独立当時、顧問先で知り合いになった秋吉博文さん（税）九州パートナーズ／福博支部）が声をかけてきました。

「林君も経営者の仲間入りだね、いい勉強会があるよ」と同友会を勧められ即入会しました。「弁護士になることが目的で、燃え尽き症候群になっていたのかもしれない。同友会で様々な経営者との出会いがあり、とても刺激的で楽しく思いました。そしてお話ししていくうちに、経営者の悩みを聞くようになりました。自分が持っている知識が、経営者の課題を解決して喜んでくださる。それが自分の喜びにもなっていくことを実感しました」。

その後「あすなる塾」経営指針作成セミナーを受講しました。策定した経営理念は次の通りです。

『経営者の心と頭を軽くする』

法律のプロとしての知識で、経営者の

事業継承のために必要なのは 社員が自主的に働く仕組みづくり

／玄海支部）を継いで2017年2代目の代表となり東奔西走の活動をしました。「この経験でさらに幅広い人脈ができました」と語ります。

涙の『福博ゴリンピック』中止

そして2018年福博支部長を拝命します。福博支部では2020年に東京五輪と林さんのニックネーム（ゴリラ）になぞらえて、その名も『福博ゴリンピック2020』（200名例会）を企画しました。目的は「支部を活性化すること」。3つの分科会と懇親会を4つのブロックが担当します。実行委員長の原田智香さん（三和浄水㈱）は、「とにかく盛り上がりました」と当時を振り返ります。そこに襲い掛かったのはコロナ禍でした。会員仲間の協力でチケットは完売、プレ例会も滞りなく済み、準備万端でした。直前の2020年2月の理事会で、



幻の『福博ゴリンピック』チラシ

林さんは、経営理念に対してあるモヤモヤした感情がありました。とある同友会活動で中同協幹事長の中山英敬さん（株）ヒューマンライフ／田川支部）と一緒にいる機会がありました。林さんはこちらこそとばかり尊敬する中山さんに経営理念にまつわる疑問を投げかけました。「私は同友会活動を通して、『経営者の心と頭を軽くする』という経営理念をつくりました。私はこのために仕事をしたいと考えています。しかし、ウチでは士業に関わる社員でそれなりの人生観を持っている。社長の考え方を社員に押し付けるのは、社長のエゴではないかと思うんです。そこでの中山さんの答えはこうでした。「林君にはオブラートに包まずにはっきり言おう。それは『理念の共有』が足りない。自分の感動や経営者としての理念への熱い思いを社員と話し合い、もっと社員と共有しなければな

お悩みの解決にお役に立ちたいという思いから生まれました。

ワンストップ体制へ

創立して2年7カ月して、事務所移転を考えていました。高校の友人であった弁護士に「一緒にやらないか」と持ち掛けました。事務員としてお願いしている方は社労士の資格をもっていました。様々なエキスパートが集まってきたことで顧客満足度が高まることを実感していました。これがワンストップへの入り口です。

林さんは、いわゆる寄り集まりの集団ではなく、有機的な組織にしたいと考えました。そこで林さんが所長となり、他のスタッフは社員という形をとりました。現在では14名体制です（内10名が女性）。

行動指針には「自分の幸せを第一に考える」と謳っています。修行時代の先生が『反面教師』になっているのかも知れません。具体的には、就業時間にかんまりの自由度をもたせています。また「自分のやりたくないこと（ちなみに林さんは『作業』は、それを苦手ではない人に任せよう。みんながやりたくないことはみんなで話し合おう」と決めていきます。組織の中で、「それくらいは察してください」というのはタブーにして、意見は



らない。真に共有がなされれば社員も同じ思いになり、それは押し付けでもエゴでもない。林さんは、納得し腑に落ちた瞬間でした。

トップがいなくても 回る仕組みがある会社

林さんの今後のビジョンについて聞きました。「当初は顧問を増やすことを心掛けていました。『ライト顧問』も一定に成果を上げています。今後はクライアントと、より密度の高い関係を構築していきたいと考えています。そのことで様々な士業が活性化されていくことでしよう」

取材の最後に林さんの考える自立型企業についてお伺いしました。「これは現状の課題でもあるのですが、私がオーラウンドでやっていて売上げや規模の拡大につながりました。いま私がいな



オフィス内部

福岡青年部連絡会の代表に

同友会に入り1年が過ぎたころに、中同協から各県で青年部連絡会をつくらうというガイドラインが示されました。支部として青年支部（満40歳まで）があるのは福岡同友会だけです。青年部連絡会は、いわゆるヨコのつながりを強化するものです。福博支部の担当としてメンバーになりました。初代の都地隆幸さん（都地畳店

くなったら会社が回っていくかどうか心配です。つまり、トップはいなくても、社員が自主的に働いていく仕組みがある会社、それが自立型企業じゃないかと思っています。まず仕組みづくり、それが事業継承にも必要なことです。企業名に個人名を入れないのは、企業が永続してほしいという願いが込められています。取材協力ありがとうございました。



輝翔法律事務所
創業 2012年
住所 福岡市中央区六本松2-12-25
ベルヴィ六本松3階
電話 092-711-0022
従業員数 14名
事業概要 士業のワンストップ（弁護士、公認会計士、税理士、社会保険労務士、行政書士）
<https://kisho-law.jp/index.html>

第11回会員企業記者発表会開催レポート

未来につなげる企業づくり
事業承継を実践中の会員企業



当社は平成九年に父が設立し医療施設を中心に清掃業務を行っております。私は三年前に事業承継で代表になりました。同友会には2009年に後継者として中央支部に入会しましたが、その後青年支部、南支部に移籍しました。同友



持田 恭央氏 (南支部)
(有)クリーン彩花 代表取締役社長

私たちの会社は創業67年を迎える印刷会社ですが、私は今年の四月から代表取締役に就任したばかりになります。同友会には3年前に入会しましたが、私自身は月刊同友の発行や記念誌の編集に携わってきました。



林田 孝一氏 (ひびき支部)
KOH O (株) 代表取締役

会で経営理念や経営者としての学びを得ることで、現在代表という立場になっており、同友会の学びはすごいと感じています。現在は弟と兄弟二人で経営をしていますが、弟は経営にはタッチをしていません。株の承継も私に移しています。経営理念などは父の代からほとんど変えてはいないのですが、ホームページやSNSなど、デジタルの部分強化したいと考えています。また、リーダーの育成が課題となっていますので、これにも取り組んでいきます。



2024年8月時点の年齢構成比(社員数18人)
【現在の社員年齢構成】
20代 20% 30代 30% 40代 30% 50代 20%
20年前から残っているのは
当時50代1人と20代3人の計4人のみ
社歴10年未満が12人
そのうち5年未満が8人
私の入社から20年たって
急速

取締役に就任してからは、事業承継塾という前社長の指導のもとで経営知識や経営者の心構えなどを学びました。また、同じ事業承継候補の取締役とともに、会社の課題を整理したところ、営業力の強化が重要ではないかという結論に至りました。そこで、私がずっと営業畑だったことから、私が代表取締役社長になることになりました。現在の会社の課題ですが、まず自身がプレイヤーとして営業をしていますが、ここを脱却すること、そのため若手の社員を育てること、また、社長業務の引継ぎ、社屋の改修などです。また、個人のプレイヤー集団のような側面があるため、組織全体としての力を高めるため、知識と技術の共有を進めています。今後も先代からの信頼を守りつつ、時代に即した経営を行っていきます。

事業承継は2016年に経営計画書の発表時に社内外に時期等を明示し、その計画通り2019年に二人代表取締役の体制になりました。現在は持ち株比率が父とイーブンになっており、今後も株の譲渡は続けていく予定です。また、この間の組織体制の見直しや事業強化によって、昨年度から最高利益を更新しています。さらに、2023年には人への投資・環境整備分野において「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定されました。今後ですが、2027年までに売上

当社は1963年設立の日本興水工業を前身とし、食品工場向け水処理設備を中心に事業を展開してきました。2008年、社内対立を契機に父とともにコースイ株式会社を設立し、顧客や従業員が新会社へ移行して事業を継続しました。事業承継は2016年に経営計画書の発表時に社内外に時期等を明示し、その計画通り2019年に二人代表取締役の体制になりました。現在は持ち株比率が父とイーブンになっており、今後も株の譲渡は続けていく予定です。また、この間の組織体制の見直しや事業強化によって、昨年度から最高利益を更新しています。さらに、2023年には人への投資・環境整備分野において「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定されました。今後ですが、2027年までに売上



鶴田 泰三氏 (飯塚支部)
コースイ(株) 代表取締役社長

私はフルタイムのパートとして入社しました。最初は事務職でしたが、正社員になり、有料職業紹介事業、キャリアコンサルティング事業の立ち上げなどを経験しました。2017年に課長になったところで、博多支部に入会しました。社員の立場ではありましたが、たくさん経営者が集まる環境下で、社長の考えや社員に対する思いなどを聞くことができました。



寄能 寛子氏 (博多支部)
求人ふくおか(株) 取締役社長



2024年8月19日、第11回となる会員企業記者発表会を開催しました。今回は事業承継をテーマに、様々な形で事業を承継した後継者の方々に報告をしていただきました。また、事業承継をテーマに毎年実践的な勉強会を開催している同友すばる委員会からの活動報告もいただきました。



2020年に、当社代表より役員者に対して後継者候補の募集をするメールが配信されましたが、同友会での経験から後継者がいないと会社が存続できないと考え、立候補することになりました。2024年に取締役社長として事業を承継したばかりですが、まずは「企業と人をつなぐ仕事」という事業の見直しと事業場外窓口の本格化を目指しています。

新会員フォローアップセミナー



第199回 (9月開催) 現地



セミナーの様子

今回の新会員フォローアップセミナーは、久しぶりに土曜日に開催しました。

そして、セミナー後に会場でミニ懇親会を開きました。

新会員の参加は24名で、応援会員も28名も来ていただき、第一講の報告からグループ討論まで活発に賑わいました。また、懇親会にも27名の方が参加されました。女性の会員さんが多くいらっしゃったのが印象的でした。

次回は、10月24日(木)で200回目を迎えることになります!

新会員の方、応援会員の方々の参加をお待ちしています。

新会員フォローアップセミナー 部会長 松井 竜介(南支部)



倉本明彦広報情報委員長の閉会挨拶



高谷代表理事からのまとめ



10億円を目指しています。会社を社会の公器ととらえ、いかなる状況においても志高く、強い思いで維持発展させ、未来の世代へバトンをしっかりとつないでいきます。

事業承継塾は、60歳以上のベテラン会員を中心とした同友会友会です。会の中で、2012年にスタートしました。年に6回、事業承継に関する税制や法律の話や対策・準備などについて学びます。また、実際に事業を引き継いだ会員さんの体験報告や実践的な講義も開催しています。また、経営相談窓口の中に「事業承継相談窓口」を設置することになり、専門家に相談しながら、スムーズな承継をサポートする体制も整えられていますので、ぜひ活用していただきたいと思っております。



末竹 哲氏 (西支部)
事業承継塾 副塾長

【事業承継塾の紹介】

2024年度 第5回 理事会だより

開催日時 2024年9月25日(水) 14時30分～17時42分
会場 久留米シティプラザ
出席数 36名(出席率90%) 議長 北原 正(理事)

- 会員増強**
入会24名、退会13名、休会1名が承認された。また1名の移籍が承認された。9月承認会員数は2,350名。
- 経営指針の成文化率と実践率の声掛け状況**
声掛け率31%。支部内での経営談義等につなげていくこと、成文化とあすなる塾の参加等へつなげることが目的だと改めて話された。
- 来年度県総会会場について**
ホテルニューオータニ博多(福岡市中央区渡辺通1-1-2)を会場とすることが承認された。
- 総務財政室より**
第18条2項の休会費に関する規程について、「休会開始日が領収済み会費の該当期中に属する場合、休会開始日以降の払済み会費を休会費の一部として充当することができる」と明記した。なお、充当した残りの会費は、現行の通り返金しない。また、一部条文の順番に齟齬があったため、条文番号を修正することが承認された。
- 役員選考委員会より**
代表理事の意向を反映した内容を選考役員会で再審議することとした。

- 中同協関係**
①2025年2月6～7日 中小企業問題全国研究会in愛媛の分科会報告について 田川市・田川支部の中小企業振興基本条例の取り組みについて、荒川雅光氏(田川支部)、また田川市役所の平塚幸雄氏が報告者として推薦され、承認された。
②2025年6月25～26日 全国環境経営交流会in広島の分科会報告について (株)アズマの中島一嘉氏(久留米支部)の報告が推薦され、承認された。
- 「全体構想」にむけた協議**
「一流の中小企業」をどのように定義するか、①定義の案をまとめているので各組織にて確認し検討して意見を出すこと、②「一流の中小企業」になるために各組織で何をやるのかについて協議し、その内容をフォーマットに記入して10/16(水)までに事務局に提出することが確認された。
- 会員企業の動き**
■経営革新計画承認企業2024年8月(県12件/うち同友会会員企業2件)
※累計で福岡県全体では9,845件、会員企業は延べ572件です。
・(株)タニガワ産業 谷川 進也 氏(青年支部)
<テーマ> 非公開
・(株)メロウ 木原 さおり 氏(中央支部)
<テーマ> 美容と健康に特化したインナービューティ商品の開発および販売

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

共同求人委員会だより

新卒採用を通じて、良い会社づくりを学ぶ委員会、共同求人委員会です。毎月第3月曜日に、同友会会議室にて委員会を開催しております。新卒採用することを通じて、良い会社にしていく活動です。お問い合わせは同友会事務局まで。

- 11月18日17時より、共同求人委員会の年間活動のキックオフでもある、大学との懇談会を中小企業振興センターで開催いたします。
「大学就職担当者との懇談会」は、福岡エリアの大学の就職状況の報告や就職課の職員の方々と直接話を聞く機会です。e-doyuで共同求人委員会に登録されている方は、是非ご参加をお勧めします。
- 福岡の中小企業合同企業説明会動画のご案内
現在2025年卒の学生に向けて、同友会会員の会社紹介動画をYouTubeにアップしております。



<https://www.youtube.com/watch?v=T8XAOsHk6zU>

2026年卒の求人に向けて、「オンライン企業動画合同説明会」への参加を募集しております。参加費は、初年度のみで、わずか20,900円(税込)です。



- 共同求人委員会で現在取り組んでいる活動紹介です。
8月26日 新卒入社2・3年目社員フォローアップ研修(共育委員会共催) 20社/44人 参加
9月27日 新入社員フォローアップ研修(入社6カ月後) 20社/38人 参加
9月 下関の梅光学院大学様とキャリア教育プログラムで協力しております。
10月 大学訪問活動/就職課とのパイプ作り/大学キャリアセンターへの訪問活動として就職状況ヒアリングと求人票を持参し、複数の会員企業と希望する大学へ訪問しました。
12月(予定) 合同インターンシップの説明会/若者採用を成功させる秘訣



新卒入社2・3年目社員フォローアップ研修



新入社員フォローアップ研修

9 土 13:30~18:00 ソーシャルビジネス委員会 11月例会

九州DIYリノベWEEK2024 ~"地域価値を共創する不動産業アワード大賞受賞記念"全員集合シンポジウム~@久留米行政区を超えた、中小企業経営者による地方都市のまちづくり

- 石橋文化会館 2階 久留米市野中町1015 ☎0942-33-2271
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 福田 和則氏 株式会社エンジョイワークス 代表取締役
- Yoon Zoosun氏 国立忠南大学 建築学科(韓国) 教授

15 金 18:30~20:30 久留米支部 11月例会

ビジネス変革に挑む

- ハイネスホテル久留米 久留米市天神町1-6 ☎0942-32-7211
- 五味 耕太郎氏 ダイワインクス株式会社 代表取締役

15 金 18:30~20:30 企業連携推進委員会 FAST11月例会

新商品・新ビジネスモデルづくりで会社を成長させたい方の勉強会 心を掴む

- 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234
- 藤木 明大氏 パーソナルトレーニングジムチアフル 代表者(博多支部)
- 林田 孝一氏 KOHO株式会社 代表取締役社長(ひびき支部)

16 土 9:15~17:45 経営労働委員会

経営指針作成あすなろ塾

- 福岡県中小企業振興センタービル501会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234

16 土 14:00~17:00 同友すばる委員会

2024年度事業承継塾 第4講 事業承継時のトラブル

- 電気ビル共創館カンファレンスC 福岡市中央区渡辺通2-1-82 ☎0120-222-084
- 石立 有氏 石立法律事務所 代表者(西支部)

18 月 18:30~21:00 のおがた支部 11月例会

企業として地域にとってかけがえのない存在に! ~地域も人も巻き込んだコミュニティビジネス~

- 株式会社コクラヤ時計店2F 直方市古町4-22 ☎0949-22-0013
- 川口 奈緒子氏 みのりの郷グループ 代表

18 月 18:30~21:00 飯塚支部 11月例会

同友会の歴史と理念

- バドゥール・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
- 中村 高明氏 株式会社紀之国屋 会長(のおがた支部)

18 月 17:00~19:00 共同求人委員会

大学就職担当者との懇談会

- 福岡県中小企業振興センター 301会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011

19 火 18:30~21:00 博多支部 11月例会

未来を見据えた働き方 ベテランが定年後も活躍できる居場所をつくりたい

- 天神ビル11階11号室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
- 百田 共成氏 有限会社百田建具店 取締役(博多支部)

19 火 18:20~20:50 福友和支部 11月例会

誠実さと発信力で築いた信頼関係 笑顔づくり企業への道のりを語る

- アクア博多3F会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 王 愛氏 有限会社五十番食品 代表取締役(福友和支部)

19 火 18:30~21:00 玄海支部 11月例会

子ども食堂の現状を知ってもらい学ぶ 未来の社会の担い手の若者に 私たちになにができるのか

- 天神チクモクビル 福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
- 田口 吾郎氏 特定非営利活動法人いなかねっつ 代表理事(博多支部)

19 火 19:00~21:00 大牟田支部 11月例会

経営者の自己変革 ~他人と過去は変えられないが自分と未来は変えられる~

- 大牟田文化会館 第一研修室 大牟田市不知火町2-10-2 ☎0944-55-3131
- 森 茂博氏 和新工業株式会社 会長(筑紫支部)

19 火 18:30~21:00 北九州支部 11月例会

AIで拓く未来の中小企業

- コムシティ大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 柿元 千徳氏 パーシモンズ 代表者(りょうちく支部)
- 平尾 繁登氏 株式会社島鉄工所 代表取締役(久留米支部)
- 大神 与志雄氏 有限会社アイビージー 代表取締役(福友和支部)

20 水 18:00~21:00 東支部 11月例会

新規事業へのチャレンジ

- 福岡県中小企業振興センター 401会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15-4階 ☎092-622-0011
- 山口 洋氏 アトモスダイニング株式会社 取締役会長(東支部)

20 水 18:30~20:45 西支部 11月例会

新しい試みに挑戦している仲間たち チャレンジしていることはなんですか?

- アクア博多A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
- 片岡 俊輔氏 すくすく保険事務所 代表者(西支部)
- 長谷川 知久氏 株式会社長谷川商店 代表取締役(西支部)
- 宮井 浩志氏 KUGANE株式会社 代表取締役(西支部)
- 松尾 勲氏 株式会社平尾自動車工場 代表取締役(西支部)

20 水 18:30~20:45 糸島支部 11月例会

経営指針書を活用した組織づくり

- 福岡市立西市民センター 福岡市西区内浜1-4-39 ☎092-891-7021
- 草野 将氏 株式会社まちのえき 代表取締役(糸島支部)

20 水 18:30~21:00 田川支部 11月例会

繋がりで、会社が強くなっていく 語り合える同志をつくらう

- 福岡県立大学 大セミナー室 田川市伊田4395 ☎0947-42-2118
- 石井 裕子氏 合同会社ケアプランサービス優 代表社員(田川支部)

21 木 18:30~21:00 福友愛支部 11月例会

今こそ全社一丸! 組織の調和が相乗効果を発揮する

- アクア博多3F会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 出崎 泰三氏 株式会社ベストオフィスクリエーション 代表取締役(福友愛支部)

21 木 18:30~21:00 ひびき支部 11月例会

仲間づくり、経済交流の会 同友会の仲間を知ろう!

- コムシティ 202、204、205会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
- 新会員数

21 木 18:20~20:50 筑紫支部 11月例会

社員の幸せを考える若手経営者の赤裸々体験記(仮)

- 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
- 川添 良平氏 有限会社あおぞら保険 常務取締役(筑紫支部)

22 金 18:00~20:30 福博支部 11月例会

人を育てて真の黒字経営 顧客も惚れるお店作り

- 天神チクモクビル 大ホール 福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
- 恒吉 大介氏 株式会社ケンショー 代表取締役(福博支部)

22 金 16:00~20:30 中央支部50周年記念 特別講演会

激動の時代を、我々中小企業はどう乗り越えるのか! ~心ある黒字企業をめざして~

- オリエンタルホテル福岡 博多ステーション 福岡市博多区博多駅中央街4-23 ☎092-461-0170
- 中山 英敬氏 株式会社ヒューマンライフ 代表取締役(南支部)

22 金 19:00~21:00 青年支部 11月例会

熱く立ち上げられ青年支部!!

- アクア博多 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
- 明永 稔氏 有限会社明永産業 代表取締役(東支部)

25 月 18:00~20:30 共育委員会 経営幹部研修

- 福岡県中小企業振興センター 202会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011

26 火 18:15~21:00 有明支部 11月例会

中小企業のための落語会

- 柳川市民文化会館 柳川市上宮永町43-1 ☎0944-73-7777
- 桂 伸衛門氏 真打

26 火 18:30~20:50 南支部 11月例会

悔いのない人生を実現するための経営 ~変わらない信念、想い、そして生まれた変化~

- アクア博多 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)

26 火 18:20~20:45 かすや支部 11月例会

課題と課題をぶつけてチャンスを見出す! ~地域の企業家としての挑戦~

- 福岡県中小企業振興センター 403会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011
- 大熊 充氏 うきはの宝株式会社 代表取締役社長(りょうちく支部)

新会員フォローアップセミナー

28 木 18:00~21:00

- 福岡県中小企業振興センター 303会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 3F ☎092-686-1234



月刊

同友

11
月号
2024

vol.700

会員 Pick up!

2024年度 玄海支部・南支部 7月合同例会

文:ダンススタジオM 後継者 福島 優一 氏(南支部)

撮影:株式会社ココスイメージ 代表取締役 富谷 正弘 氏(玄海支部)



南支部・玄海支部合同集合写真

日時 7月30日 18:00~22:00 会場 アークロイヤルホテル福岡天神

報告者

株式会社Bビーイング 代表取締役会長 塚崎 ひとみ 氏(玄海支部)

一般社団法人ヒューマンハーバーそんとく塾 代表理事 副島 勲 氏(南支部)



報告者 塚崎 ひとみ 氏



飛距離を争うゴルフゲーム



左 工野ブロック長(玄海)
右 福島おどるブロック長(南)



玄海支部長 舩元 光二さん



グループ討論の様子



南支部長 福田 裕聡さん



報告者 副島 勲 氏(右)

玄海支部と南支部、合同例会を開催しました。

塚崎さんの財務知識を通じて人を育てていく会社の報告、副島さんの「再犯を起こさせない社会づくり」を目指す会社の報告はどちらも学びが深く、もっと長い時間をかけてお聞きしたいものでした。

そして、支部を超えての交流はとても新鮮で、違いに触れる事でお互いに刺激し合える例会でした。

参加者約150名。盛大な会となりました。

あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか?

みなさんの投稿をお待ちしています。

投稿方法 郵送、メールいずれも可。
表題に「月刊同友 会員からの投稿」とご記載ください。

テーマ 環境問題や、社会貢献、例会の様子、地域イベントなど、内容は自由です。

送付先 郵送/下記「月刊同友」編集部まで
メール/ a_arima@fukuoka.doyu.jp (福岡同友会事務局 有馬まで)

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

[北九州地区センター]

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

[県南地区センター]

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366



[デザインQR]

今月の「月刊同友」はいかがでしたか?

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

約4分で回答できます 回答締切 11月30日(土)

環境を守るため森林認証紙を使用しています。